

## 令和6年駒ヶ根市教育委員会第2回定例会 次第

令和6年2月29日(木) 午後2時  
駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告 P 1
- 3 事業報告及び事業計画 P 3
  - ・臨時教育委員会 2月29日(木) 定例会終了後 保健センター2階 大会議室
  - ・定例教育委員会 3月26日(火) 午後2時 保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件 P 7
  - 議案第1号 令和6年度予算概要について P 7
  - 議案第2号 令和5年度補正予算について P 18
- 5 協議事項  
なし
- 6 報告事項 P 19
  - (1) 公民館長の任命について P 19
  - (2) 行事共催等承認申請の専決処分について P 20
- 7 その他 P 21
  - (1) 校長の離任と着任における教育委員の任務について P 21
  - (2) 令和6年度教育委員会 定例会・臨時会開催日程について P 22
- 8 閉 会

# 令和5年度 第11回駒ヶ根市定例教育委員会 2月29日(木)

## 『おらが世や そこの草も 餅になる』 小林一茶

季語：草も餅＝草餅（春）

意味：何ともはやありがたい世だ。そこの草も草餅にできる。



♥草餅は、ところによって違うが、3月3日頃に食べられる縁起物だと言われているそうです。一茶は、「そこの草」と表現していますが、ヨモギで作るのが一般的でした。それにつけても一茶の生きる時代は、実にひもじい時代でした。その中であって力強く生き抜かなければやっていけない時代でもありました。

### ◆先達の教え1 科学技術こそ立国の礎 吉野彰 (旭化成CEO) VS 栗原権右衛門 (日本電子会長)

- 国立大学法人化により、実用的なテーマを設定しないと予算が下りにくくなっている。「選択と集中」により、研究者が二～三年で成果が見えるテーマばかり選択するようになった。これは研究開発というより改善提案だ。
- 学术界も産業界も、制度を整えるにはロングレンジ、長い目で見るとべきだ。
- 2050年の世界に何が起きているかを予想して「今何をすべきかを考えよう」の目標の下に30年、日本の研究者がそれぞれの研究に打ち込んでいったら、必ず実現する。**
- ハーバード大学経済学者が提唱する「経済複雑性指標 (ECI) で日本がずっとNo.1。何かを生み出すための能力がどれだけあるかの指標。これだけ多様さを持っているのなら、それこそ横断的に連携すれば、今までに無い新たな価値を創造できる。
- 大村智 (ノーベル生理学・医学賞)、野依良治 (ノーベル科学賞) 共通していたのは、科学者としての能力以上に、人間性が素晴らしい。人と関わり、仕事をする上で**何より重要なのは人格であり、人間性を磨かないといけないことを教えられた。**
- とことん苦しむこと。もうどうにもならない、答えが出ないという所まで苦しみ抜かないといけない。そこに到達した後、何かの拍子にふっと気が抜け「**何でこんなことに気付かなかったんだ**」という発見が訪れる。災禍は変革の源。
- 成果の出るのはこれからだろうが、日本の青年を信頼し、青年に頼って立国の大業の成ることを期して待とう。
- Googleは、スマホの基幹システムとしてAndroidを開発し、他社に無償提供することで、世界の約75%の端末に搭載され、手中に収めた。そのシステムの上に他社が様々なサービスを展開し、プラットフォームビジネスという新たな産業もできた。
- あれだけ強い企業になったのは、川上である頂上 (Google) にそういう強い技術を持ち、うまく他社に提供して、川下と繋ぎ合わせたからだ。**
- 川上を押さえて結果的に大きな見返りを得るという発想が大事だ。
- アナログなノウハウの集積で、他社には真似することが難しい。だから、日本の科学技術産業がこれから栄えていくための一つの道は、まずいま川上の産業で健全な力を蓄えながら、次にプラスアルファ、新しい産業の芽を探していくことだ。
- 国内海外を問わず、**まずそれぞれの会社のDNAを尊重すること。けんかはしてもいい。でも、手を携えられるところではシェイクハンドすることだ。それによりまだどこにもない、第三の価値が生まれて来るはず。**



♥ 「日本人の持つ本来の良さを遺憾なく発揮せよ」「アナログを大事に、古典を学べ」「川上、川下論理」等、目の付け所を思い切って転換することで、新たな価値の創造

が成ることを明確に伝えている。このくらい広い支店から教員も学ばなくてはならないのではないか。



### ◆先達の教え② 平山郁夫著 『ぶれない』

- 現実を直視し、優れたものから学べ。
- 人は生かされて生きていると感じる。しかし、それもこれも、こちら側に「求める気持ち」がなければ何も分からない。じっと待っているだけでは、欠点を直すことも、作品をより高いレベルで仕上げることもできない。自分から食らいついていく意欲。それが人を進歩させ、自分自身を高めてくれる。
- 先生というのは梵鐘みたいなものだ。たたけばいい音が出るが、たたかなければ鳴らない。だから自分から求めて行って、どんどん鐘を鳴らすんだ。自分からどんどん鐘を鳴らしていくことで、道は開けてくる。
- 将来こんなことをやりたい、もしできたらこんなことをしたい…そんな夢や目標があれば、人生に張りが出、それがその人を大きくする。その目標が「人間として何かの役に立ちたい」というものならば、どんなに時代や環境が変わっても揺るがない一番強いものになるだろう。

♥ 子どもに対するとき、先生方同士で学ぶとき、保護者対応するとき、地域の方々と接するとき。そんなとき、ぶれない自分（不動軸）を持って対応することは、絶対に必要なことである。しかし、言うは易いが実践となるとなかなか思うようにいかないのが現実だ。

どうすればいいか。平山のいう「求める気持ち（心）」を持つこと、目標を明確に持つことが大事な大事な突破口になる。目の前の子どもや大人を想定して、自身を追い込んで行かざるを得ない。そのためには、日頃から心掛けることが三つあるという。三つは簡

まずは「古典を教養として学ぶ」こと。先人の多くのことを教養として学ぶか、単なる模倣で終わるかの違いだという。古典は普遍性を持っている。古典を教養として学んだからこそ、雪舟も宗達も「ぶれない」自分をつくれた。

二つ目が「一流に接しろ」。一度一流を味わい、その感触をつかんだら、その後は普通に戻ってかまわない。本物の味をしっかりと頭にインプットすることが重要だという。

※ 日本人は謙虚だと言うが、度が過ぎて自虐的になって、自信を喪失してはいけない。「求める心を持って突き進むべきだ。目標を持って失敗を恐れず、突き進むべきだ。そうした環境に自身を追い込んで、研究と修養に努めるしかない。これからの時代はそれが欠かせない。そういう大切な仕事に私たちは就いているんだという自身と自負を持って子どもに接してほしい。

### ◆考えさせられたこと 「駒ヶ根市学力向上検討委員会小委員会」活動反省より

○やって終わりの学力検査ではなく、これまでの指導を振り返ったり、これからの授業を考えたりしていく時間がとれたことがよかった。子どものせいにするのではなく、問うべきは教師の授業力であると改めて実感し、刺激になった。

♥ 自分の立ち位置がわかっているこの先生は、着実に力を付けていくだろう。問うべきは教師の授業力だとは、昔から言われることだが、若い先生の口から自戒の念として発せられることに意義と希望がある。



《ちょっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、駒ヶ根の子どもの様子、資料「入～れて」「い～いよ」と早朝からサッカーに興じる子ら。「教室にいた全員を連れてきたよ」。迷惑な子もいるかもしれないが、声掛け合う仲間が存在することは、うれしいことだ。内から一歩踏み出してみようかとあぐねていた子にとっては、いい呼び水になったことだろう。「外からの励まし」のありがたさ。子ども同士の関わりの大切さを朝の一場面から感じた。

## 2月分 教育委員会事務事業計画

2024年2月27日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	木	8:30	新規採用職員研修会[本庁第5会議室]	
		11:00	給食財団理事会[保健センター第1会議室]	教育長、子ども課
		13:30	市内園長会[]	子ども課
2	金	10:30	図書館協議会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		13:30	部課長会[本庁第2会議室]	教育長、次長、両課長
3	土			
4	日		駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムイベント	
		13:30	子ども音楽祭[文化センター]	社会教育課
5	月	9:00	庁議[本庁舎第5会議室]	教育長、次長
		13:30	給食財団評議員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
6	火	16:00	区長会[第5会議室]	
7	水	13:30	文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		15:30	文化財団評議員会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
		17:30	保育所所屬長懇談[保健センター大会議室]	次長、子ども課
8	木	9:30	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長、子ども課
		15:00	土地開発公社理事会[本庁第3委員会室]	次長
		16:00	学力向上検討委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
9	金	9:00	部課長会[本庁第5会議室]	教育長、次長、両課長
		19:00	青少年育成委員後期総会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、社会教育課
10	土			
11	日			
12	月			
13	火	9:00	庁議[本庁舎第5会議室]	教育長、次長
		18:00	屋内体育施設調整会議[南庁舎大会議室]	社会教育課
14	水		県市町村教育委役員会・代議員会[]	職務代理
			文化財団視察研修[磐田市]	教育長、次長、社会教育課
15	木	15:30	不登校児童生徒支援委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、子ども課
16	金	18:30	スポーツ推進審議会[保健センター大会議室]	教育長、次長、社会教育課
17	土			
18	日	14:00	スポーツ少年団指導者協議会研修会[保健センター大会議室]	社会教育課
19	月	15:30	幼児幼年教育研究会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、子ども課
20	火	9:00	議会全員協議会[本庁第5会議室]	教育長、次長
		15:30	特別支援教育コーディネーター連絡会[保健センター大会議室]	教育長、子ども課
21	水			
22	木	10:00	3月議会開会[議場]	教育長、次長
23	金			
24	土			
25	日			
26	月	13:00	駒ヶ根工業高校評議員会[駒工]	次長
27	火			
28	水	18:00	調べる学習コンクール表彰式[文化センター]	教育長、社会教育課
		18:30	ハーフマラソン実行委員会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
29	木	9:30	市町村教委連絡会[伊那合庁]	教育長、職務代理
		14:00	定例・臨時教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長

## 3月分 教育委員会事務事業計画

2024年2月27日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	金	13:30	市内園長会[]	
2	土	9:15	チャレンジチャンピオン大会、ふわっとテニス交流大会[泰成フロアー]	社会教育課
3	日			
4	月	15:00	年間事業計画調整会議[保健センター大会議室]	子ども課
5	火	9:00	市内校長会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
6	水			
7	木	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
		18:30	利用団体グランド調整会議[南庁舎大会議室]	社会教育課
8	金	10:00	一般質問[議場]	教育長、次長
9	土	13:30	駒ヶ根ふるさと講座[赤穂公民館]	社会教育課
10	日	9:00	十二天の森自然観察会及びナラ枯れ説明会[十二天の森]	社会教育課
11	月		常任委員会[本庁第5会議室]	
12	火	9:00	教育民生建設委員会[本庁第5会議室]	
13	水		予算特別委員会[本庁第5会議室]	
			市内中学校卒業式	教育委員、教育長
14	木		予算特別委員会[本庁第5会議室]	
		15:30	かっぱ館運営委員会[かっぱ館]	教育長、社会教育課
15	金		予算特別委員会[本庁第5会議室]	
			市内小学校卒業式	教育委員、教育長
16	土			
17	日			
18	月	13:00	庁議[本庁第3委員会室]	教育長、次長
19	火		公立後期選抜発表	
20	水			
21	木	10:00	議会閉会[議場]	教育長、次長
22	金	9:00	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
23	土			
24	日			
25	月	13:30	転退職教職員送別の会[本庁大会議室]	市長、教育委員、教育長、次長、両課長、子ども課
26	火		保育園幼稚園卒園式[各保育園幼稚園]	子ども課
		9:00	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
		10:00	伊那養護学校南部連絡会[保健センター大会議室]	教育長、子ども課
		14:00	定例教育委員会[保健センター大会議室]	教育長、次長、両課長
27	水	18:00	スポーツ協会理事会[]	次長、社会教育課長
28	木			
29	金		退職職員送別会	
30	土			
31	日			

政策 1-1	未来を担うひとづくりを進めます
総合戦略 3-(2)	妊娠、出産支援・・・第2子第3子を生みやすい環境整備

## 1 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援

R6.2  
子ども課

**めざす姿** 子どもを望む全ての人々が安全安心な妊娠・出産・楽しい子育てができ、子どもたちが健やかに成長発達している。

	推移 (R5は見込み)						目標	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
安心して子育てできる支援が整っている	-	3.25p	-	3.28p	-	3.22p	-	3.50p
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合	94.7	93.6	94.1	96.3	96.4	96.5	96.5	96.0
乳幼児健診の受診率	98.6	97.4	95.0	97.8	97.9	98.0	98.3	99.0

**6年度のポイント**

- ①妊産婦への支援を充実します。
- ②乳幼児の健やかな発達を促す支援をします。
- ③発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育を推進します。

### ① 安心して子どもを産み、健康に過ごすための支援

#### ■ 妊婦一般健康診査支援事業

継続

【予算額 24,062千円】

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査、妊婦歯科健診の補助を行います。  
・妊婦健診受診票の発行 1人当たり14回分 126,640円

#### ■ 低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

新規

【予算額 20千円】

低所得の妊婦への妊娠判定にかかる産科受診費用補助を行います。  
・初回産科受診料支援事業費用補助 1人上限10,000円×2件 20,000円

#### ■ 妊婦の健康保持の支援・不安の軽減

##### ・母子健康手帳の交付

面談を通じて妊婦の生活状況を把握しながら、健康診査受診の勧奨、体づくりのための生活習慣等・保健指導を行います。支援の必要者には支援計画を作成し、医療機関等と連携を図りながら継続した支援を行います。

母子健康手帳の交付人数  
(R5は見込み)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
人数	208	217	213	185	185

##### ・母親学級・パパママ教室・妊娠8か月面談

妊娠中の身体管理方法、妊娠から出産・子育てまでの見通しを立てるよう支援し、不安の軽減、親となる心構えと育児の実際について伝え、円滑な育児開始を図ります。

#### ■ 産後ケア・産婦健康診査支援事業

拡充

【予算額3,114千円】

・産後ケア事業：産後に身心の不調や育児不安等がある母や特に支援が必要な母が、医療機関や助産所に宿泊・滞在し、身心のケア、保健指導、授乳指導や育児相談を受ける費用の一部を助成します。また令和6年度から、利用者負担額のうち2,500円を支援します。

・育児・母乳相談等事業：育児不安、母の心身の回復、乳房マッサージ等について、医療機関や助産所で相談する際の費用の一部を利用券で助成します。 1人2,000円/回×5回分

・産婦健康診査受診票の発行：産後間もないお母さんのこころと身体の健康と産後うつ病の予防/早期発見等のため、産婦健康診査の費用の一部を助成します。 1人上限5,000円/回×2回

育児・母乳相談券利用数  
(R5は見込み)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
利用延数(人)	270	228	250	274	290

#### ■ ほほえみ支援事業（不妊治療費助成金）

継続

【予算額 4,200千円】

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。  
(令和4年度から不妊治療は保険適用、市助成額の上限を10万円から20万円に引き上げ)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
申請件数(件)	39	46	36	23	25
助成額(千円)	2,876	3,305	2,731	2,426	3,000

(R5は見込み)

## ② 乳幼児の健やかな発達の促し

### ■ 新生児聴覚検査助成（委託料・補助金）

継続

【予算額 1,050千円】

すべての新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査にかかる経済的負担の軽減のため、検査費用の補助を行います。1人1回上限5,000円

### ■ 乳児一般健康診査支援事業

【予算額 1,198千円】

1ヶ月児健診の負担の軽減を図るため、受診券方式による公費負担を行います。

### ■ 乳幼児健康診査、育児相談

乳幼児期の成長発達を確認し、疾病等の早期発見、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。

- ・健康診査：3ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳
- ・育児相談：6ヶ月、12ヶ月、2歳3ヶ月

（法定健診）1歳6ヶ月児健診（R5は見込み）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
対象児数(人)	234	210	209	194	203
受診者数(人)	230	201	202	191	200
受診率(%)	98.3	95.7	96.7	98.5	98.5

（法定健診）3歳児健診（R5は見込み）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
対象児数(人)	256	250	227	237	193
受診者数(人)	247	236	222	228	187
受診率(%)	96.5	94.4	97.8	96.2	96.9

### ■ 子どもを健やかに育てる環境づくり

市保健師や助産師、市内産科医療機関または助産所の助産師が全出生児対象に新生児訪問を行います。また、助産師・栄養士・家庭児童相談員等の専門職が子育て支援センターに出向き、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

### ■ 未熟児養育医療給付事業

【予算額 1,300千円】

出生後、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある乳児に対して、医療の給付を行います。

### ■ 安全な予防接種の推進

継続

【予算額 85,862千円】

疾病の発生及びまん延を予防し、子どもの健やかな成長支援を図ります。また、より安全で接種しやすい環境づくりのため、全ての予防接種を個別接種により実施します。

【定期予防接種】4種混合、5種混合、2種混合、BCG、水痘、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタ、HPV（キャッチアップ接種は令和6年度まで）

【任意予防接種】インフルエンザの感染リスクを下げ、安心して受験に臨めるよう、中学3年生のお子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

## ③ 発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育の推進

### ■ 児童発達支援事業

継続

【予算額 35,314千円】

発達障がい等心身に何らかの障がいがあるいは発達特性を有し、訓練を必要とする児童に対して、日常生活の自立及び集団生活適応力、社会力をつけるための個別、集団の療育訓練を行います。

【児童発達支援施設つくし園 利用延人数】（R5は見込み）

年度	R1	R2	R3	R4	R5
児童発達支援(乳幼児、園児)	2,319	1,987	2,259	2,512	2,160
放課後等デイ(学童)	370	329	285	382	450
保育所等訪問支援	7	10	21	65	50
タイムケア(障がい児の一時預かり)	226	61	93	10	5

<b>2 家庭・地域の子育て力の向上</b>	R6.2 子ども課
------------------------	--------------

**めざす姿**

- 様々なニーズに対応した子育てが安心して行える環境が確保され、気軽に相談できる体制や地域も含めた子育て全般に渡るサービスが整っている。
- 児童虐待もなく、不登校などにもつながらない健全な家庭生活が保たれている。

	推 移						目 標	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
安心して子育てできる支援が整っている(ポイント)	-	3.25	-	3.28	-	3.22	-	3.50
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合(%)	94.7	93.6	94.1	96.3	96.4	96.5	96.5	96.0

**6年産のポイント**

気軽に子育て支援サービスが受けられる環境を整備し、子育て家庭の心身及び経済的な負担軽減に努めるとともに、子どもに関する相談体制を充実します。さらに、関係機関等と連携し、ヤングケアラーの把握や不登校児童生徒などに対する取組を推進します。

① 子ども交流センター・子どもクラブの運営 継続

保護者が勤務等で家にいない児童の放課後の安全な居場所や健全な遊び場を提供する。

◆児童厚生員等の報酬、施設維持費等【予算額 35,798千円】

◆子ども交流センター利用状況（4館※の平日1日平均利用人数）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (見込み)
人数	168.7	174.1	127.9	144.5	136.9	(153.2)

※すずらん・三和森・赤穂東・みなみ子ども交流センター



◆子どもクラブ利用状況（2館※の平日1日平均利用人数）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (見込み)
人数	34.1	32.4	20.2	26.4	23.1	(33.5)

※中沢・東伊那子どもクラブ



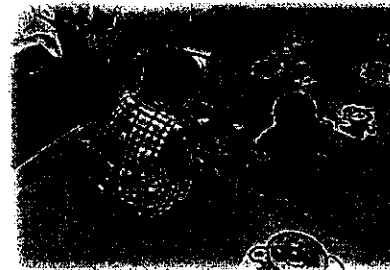
② 子育て家庭の負担軽減 継続

- ◆ハッピーママサポート事業（家事援助支援等）【予算額 270千円】
- ◆育児支援家庭訪問事業（虐待リスク等のある家庭への支援）【予算額 60千円】
- ◆子育て短期支援事業（子どもショートステイ事業）【予算額 86千円】
- ◆ファミリーサポートセンター事業（託児）【予算額 3,070千円】

子育て全力応援！継続事業

拡充

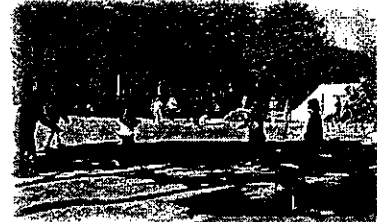
- ◆ファミリーサポート事業等利用料助成事業【予算額 983千円】\*
- ・ファミリーサポートセンター一部助成事業（会員双方の助成）
- ・ハッピーママサポート初回無料事業
- ・子育て支援短期入所初回無料事業



<ファミリーサポートセンター事業による託児>

③ いい育児の日関連イベント開催事業 拡充

- ◆フリーマーケットや子どもがたくましい体と豊かな心をはぐくむ体験コーナー等【予算額 900千円】



<いい育児の日イベント「青空すくすく広場」の様子>



④ ヤングケアラー等の支援(相談システム) 新規

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもをいいます。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあるため、適切な支援や見守りに繋げることが重要です。

1人1台端末の昨今、タブレットやパソコンから窓口相談できるシステムを導入することで早期の発見とサポートが可能となります。また、直接子どもの声を聞くことができるため、本人からの相談を待つだけでなく、同級生が小さな変化を感じたらいつでも相談できます。

【予算額 102千円】

※下記、⑤子どもに対する相談体制の充実と併せて実施します



⑤ 子どもに対する相談体制の充実 継続

◆家庭児童相談員による相談業務

【予算額 6,692千円】

【家庭児童相談延べ件数】

内容	年度				
	H30	R1	R2	R3	R4
養護	735	797	639	501	404
育成	87	92	161	116	37
その他	42	57	59	31	56
合計	864	946	859	648	497

●性格や行動、心身の発達・障がい、家庭環境、虐待などの子どもに関する相談を受け付けます。  
必要な場合は、児童相談所等関係機関へつなぎます。(児童虐待は、養護相談の中に含まれます。)

◆教育相談員による相談業務

【予算額 5,762千円】

【教育相談延べ件数】

内容	年度				
	H30	R1	R2	R3	R4
不登校	38	71	150	103	85
発達障害	131	114	95	98	85
就学指導	238	186	177	205	210
その他	230	165	104	150	122
合計	637	536	526	556	502

●いじめや不登校、就学に関する悩みなど教育に関する相談を受け付けます。

⑥ 発達障がい児に対する相談業務・療育支援 継続

◆保育カウンセラーによる相談業務等

【予算額 5,760千円】

【カウンセリング延べ件数】

内容	年度				
	H30	R1	R2	R3	R4
巡回相談	410	439	167	168	180
健診相談	3	11	12	30	14
その他	385	195	187	206	150
合計	798	645	366	404	344

●保育カウンセラーによる保育園・幼稚園の巡回相談や個別相談・発達検査などを実施することで、療育を必要とする子どもなどの支援を行います。



- 児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。
  - 「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。
  - 通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。
- ※通話料は無料です。

総合戦略 子育て支援・・第3子以降に照準、自然を武器に子育て環境イメージアップ策に  
3-(3) 重点

(政策1-1)

### 3 幼児期の健全育成の推進

R6.2  
子ども課

めざす姿

- 子どもたちが体を使った遊びを行い、年齢にふさわしい体力・運動能力を身につけている。
- 地域の特性を生かした保育がなされ、子どもたちが自然に親しみ、想像力や豊かな感性を身につけている。

6年度の  
ポイント

- ① 子どもの体力向上を推進します。
- ② 地域に根ざした特色ある取組を進めます。

#### ① 子どもの体力向上の推進

継続

##### ○ 保育園・幼稚園における運動遊びの推進

子どもたちの体力や運動能力を高めるため、日常の保育の中に運動あそびを取り入れるとともに、親子で体を動かすことを楽しむ機会を提供し、保育の質の向上を目指します。

##### ○ 幼児運動能力評価

引き続き、幼児運動能力評価を実施し、駒ヶ根市の子どもたちの運動能力の現状を把握することで、運動能力向上に向けた保育の取組に生かします。

#### ② 地域に根ざした特色ある取組

継続

##### 公立・私立保育園幼稚園の入所状況と今後の予想(各年4月1日現在・R06は予定)

(単位：人)

	R02	R03	R04	R05	R06
公立保育園(8園)	597	624	618	573	585
公立幼稚園(2園)	77	72	53	64	56
私立保育園(2園)	187	182	169	163	178
私立幼稚園(1園)	65	64	56	51	50
私立小規模保育施設(1園)					18
合計	926	942	896	851	887

##### ○ 未満児保育料の軽減

・少子化対策として、同時入所でもなく、第3子の軽減を50%、第4子以降の保育料について引き続き無料とします。

・未満児保育料について、各層上伊那の市町村と同程度に軽減し、育児と仕事の両立支援につなげます。

##### <国の制度>

・子どもが同時入所の場合、第2子半額、第3子以降無料。

・年収360万円未満の世帯について、多子計算に関わる年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を50%軽減、第3子以降の保育料を無償化。

・ひとり親世帯等の保育料負担軽減として、年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料を市町村民税非課税世帯並に軽減、第2子以降の保育料を無償化。

・市町村民税非課税世帯の第2子保育料無償化。

##### ○ 幼児教育無償化の実施

継続

・3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて幼稚園、保育所の費用を無償化します。

・3歳以上児の副食費について市で1,700円負担するとともに、同時入所に関係なく第3子以降の副食費を無償化します。

##### ○ 公立保育園・幼稚園の運営

継続

【予算額 394,458千円】

・嘱託保育士・教諭・調理員報酬 47名分

・臨時保育士・教諭・調理員賃金 75名分

・給食賄材料費、教材他消耗品他

○ 私立保育園・幼稚園の運営のための支援 **【拡充】** 【予算額311,860千円】

・既存の私立保育園・幼稚園を支援するとともに、令和6年度に開所するJ's保育園駒ヶ根についても新たに支援します。

- ・私立保育所・幼稚園運営費 284,055千円 国1/2 県1/4
- ・私立保育所・幼稚園特別保育事業補助金 (単位：千円)

	福岡保育園	桜ヶ丘保育園	聖マルチン幼稚園	J's保育園駒ヶ根	備考
延長保育事業	4,000	4,000	-	2,000	国県補助2/3
一時保育促進事業	1,200	-	8,000	-	国県補助2/3
乳児保育	510	510	-	-	県補助1/2
その他特別保育事業	452	221	-	-	
合計	6,162	4,731	8,000	2,000	

○ 未就園児童の子育て支援等 **【継続】** 【予算額65,237千円】

- ・利用者数の推移 (R05は見込み 年間延利用者数：子供の人数)

年度	H30	R01	R02	R03	R04	R05
きっずらんど	2,747	3,710	1,334	1,351	2,002	3,000
まあるくなあれ♪	6,893	6,710	3,488	3,450	2,433	3,800
一時預かり事業	1,195	1,042	805	540	591	800

- ・きっずらんど、まあるくなあれ♪事業  
駅前アルパ「きっずらんど」、経塚支援センター「まあるくなあれ♪」を設置し未就園児親子の交流支援を図ります。  
引き続ききっずらんどの土曜日開館を実施します。
- ・乳幼児一時預かり事業  
引き続き市内医療機関と連携し、8カ月未満の乳幼児の一時預かりを実施します。
- ・世代間交流事業(おじいちゃん先生)
- ・病児・病後児保育事業  
児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難で、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な際に、市内、飯島町の医療機関併設の病児保育室において児童を一時的に預かり、子育てと就労の両立の支援を図ります。
- ・幼児教育アドバイザー配置  
令和4年度に策定した「保育・幼児教育ビジョン」を推進するため、幼児教育アドバイザーを配置し、「内から育つひたむきな子」育成に努めます。

## 4 子どもの食育の推進

R6.2  
子ども課

### めざす姿

●様々な経験を通じて、食への関心を高め、地域に根差した食に関する知識や健全な成長に必要な食品を選択する力を身につけ、豊かな心を育み、健全な食生活を実践している。

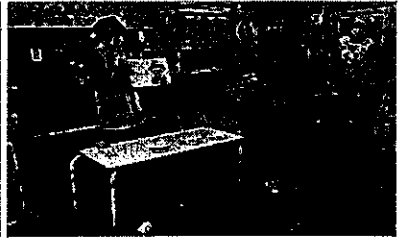
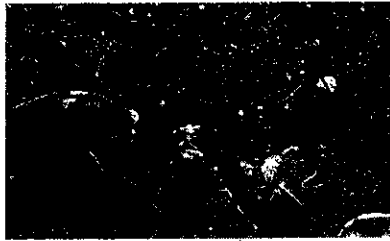
### 6年度の ポイント

- ① 子ども達が体験しながら楽しく学ぶ食育を推進します。
- ② 家庭での食育を推進します。
- ③ 「お弁当の日」を推進します。

### ① 体験しながら学ぶ食育の推進 継続

#### ○園児への体験機会の提供

・園での野菜作り、収穫した野菜の調理体験、給食での行事食や郷土食の提供、親子クッキングなど、体験を通じた園児たちの食への関心を高める取り組みを進めます。



#### ○家庭と共にすすめる食育

園児が望ましい食生活習慣や生活リズム、マナーなどを身につけるために、園の給食や給食だより、親子クッキング等で、共食や朝食の大切さなどの啓発を行います。



### ② 学校食育の推進 継続

- 「お弁当の日」のお弁当作り
- 食育授業・講演会

【予算額39千円】

### ③ 実態調査

- 食育アンケート（3年に1回実施（令和6年度実施））

【予算額134千円】

## 5 学校教育の充実

R6.2  
子ども課

めざす姿

確かな学力や体力、豊かな人間性を持ち、自立して生きていける力を身につけ、地域づくりを担っていける子どもたちが育っている。

指標名	推移					目標		
	R1	R2	R3	R4	R5	→	→	R8
標準学力調査の目標値を上回った教科数、全国学力・学習状況調査の全国平均を上回った教科数の割合	86.4%	未実施	59.1%	52.2%	18.2%	→	→	80.0%

6年度の  
ポイント

- ① ICT教育の充実
- ② 学力向上プログラム・外国語学習指導の充実
- ③ 児童生徒の安全確保の充実
- ④ 特別支援教育の充実

## ① ICT教育の充実

継続

【予算額 73,133千円】

- 一人一台端末(2,832台)の活用  
(小学校1・2年生:iPad、小学校3年生～中学生:Chromebook)
- 大型提示装置・書画カメラ等の活用
- 学習用ドリルアプリの活用
- 教員の指導力強化とICTリテラシーの向上(ICT支援員配置・ICT研修の実施)
- ICT教育運用・保守等委託(障害対応、修繕、セキュリティ対策、保守等)
- 学校ネットワーク等管理

## ② 教科指導の強化

継続

【予算額 39,469千円】

- 学力向上対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 専科教員の配置((中学校:7名)国語・数学・理科等の個別教科の充実)
- ALTの配置((4名)小学校外国語活動・中学校英語教育の支援充実)

## ③ 不登校児童・生徒の居場所づくり

継続

【予算額 21,744千円】

- 不登校対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 子どもと親の相談員の配置(小学校:4名)
- 生徒相談員の配置(中学校:3名)
- 中間教室適応指導員の配置(子ども課:1名)

## ④ 学習習慣形成

継続

【予算額 43,344千円】

- 特別支援教育支援員の配置(小学校:18名、中学校:1名)  
▶発達特性のある児童・生徒への支援、個別指導の充実、要介助児童・生徒の対応
- 看護師の配置(小学校:2名)  
▶病弱児・医療的ケア児への支援

## ⑤ 標準学力調査・集団適応調査

継続

【予算額 3,593千円】

- 標準学力調査  
▶全国学力・学習状況調査と併せ小学校3年から中学校3年まで実施  
(小学校:国語・算数、中学1年生:国語・数学・理科・社会、中学2年生:国語・数学・理科・社会・英語、中学3年生:理科・社会・英語)  
▶児童・生徒の成長の把握とつまずきの発見・克服、指導法の検討と授業改善
- QU調査  
▶小中学校全学年基本的に年2回実施、学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足感などを測定  
▶学級経営の改善により、いじめ・不登校の防止と学力向上につなげる

## ⑥ 特色ある学校づくり

拡充

【予算額 2,850千円】

- 各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算  
▶学力向上や指導力向上、地域に開かれた学校づくりなど、総合的な学習の時間を中核とした特色ある学校運営を校長のリーダーシップにより推進  
▶コミュニティ・スクールの導入促進、活動充実など

## ⑦ 学校と地域が連携した部活動改革

継続

【予算額 2,420千円】

- 部活動・校外活動担当指導主事の配置(1名)

## ⑧ 通学カバン贈呈

継続

【予算額 3,740千円】

- 新小学1年生の希望者に通学カバンを贈呈

## ⑨ 学校給食物価高騰対策事業

拡充

【予算額 10,647千円】

- 学校給食食材植上がり分の補助

# 6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上

R6.2  
子ども課  
社会教育課

めざす姿

未来を担う子ども・若者たちが、学校や家庭をはじめ地域社会全体の支援を受けながら、豊かな人間性や社会性を身につけて成長している。

指標名	推移					目標	
	H27	H29	R1	R3	R5	→	R8
家庭・学校・地域が協力して子育てをしている。	3.45p	3.47p	3.50p	3.55p	3.39p	→	3.65p
青少年が心身ともに健康に育つ環境にある。	3.34p	3.37p	3.35p	3.43p	3.35p	→	3.49p

6年度の  
ポイント

- ① コミュニティ・スクールの推進(地域とともにある学校づくり)
- ② 学校支援ボランティアの充実
- ③ キャリア教育の推進

## ① 学校支援ボランティア

継続

【予算額 1,282千円】

- 放課後学習支援
- 授業支援
- 外国語活動支援
- クラブ活動支援
- 本の読み聞かせ支援

## ② キャリア教育の推進

継続

【予算額 300千円】

- 産学官の連携強化(キャリア教育推進協議会)
- 職場体験学習
- JICAの学校交流事業
- 郷土愛プロジェクト・キャリア教育かみいな交流会

## ③ コミュニティ・スクールの推進

継続

【予算額1,400千円】

- 市内全小中学校

6年度の  
ポイント

青少年育成委員とともに、より良い環境づくりを進めます。

## ① 青少年健全育成事業

継続

【予算額 1,287千円】

- 地区子ども会活動推進事業補助
  - ・ 市内16区にある子ども会の活動を支援する
  - ・ 地区子ども会活動の交流
- ジュニアリーダー研修
  - ・ ジュニアリーダー・シニアリーダー 約20名
  - ・ 各種研修を実施
  - ・ VYS会に指導を依頼
- 二十歳を祝う会の開催
  - ・ 8月15日開催
  - ・ 対象者 約350名



ジュニアリーダー研修会

## ② 青少年育成センター事業

継続

【予算額 704千円】

- 青少年育成委員の活動を支援
  - 各区分から選出される青少年育成委員34名による青少年育成活動及び補導活動を支援する。
  - ・ 青少年育成委員活動
    - 研修会、交流会への参加
    - 子ども会活動の運営
  - ・ 青少年の補導活動
    - 巡回指導、街頭指導の実施
    - 青少年健全育成協力店推進活動



令和5年度 二十歳を祝う会

# 1 生涯学習の推進

R6.2  
社会教育課

**めざす姿**

- 誰もが生涯にわたって自由に学ぶことができ、その成果が地域づくりに活かされている。
- 生涯学習施設が、学び・実践・交流していく場所として活用され、望ましい学習態様が構築されている。

	推移							目標
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R8
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.10p	—	3.04p	—	3.16p	—	3.07p	3.27p
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.55p	—	3.58p	—	3.71p	—	3.65p	3.84p

**6年度のポイント**

- ① 多様なニーズや新たな生活様式、ライフスタイルに対応できる学習情報や機会の提供方法を検討し、実践していきます。
- ② 生涯学習活動を支援します。

① **社会教育総務管理事業** **継続** 【予算額 3,036千円】

- 学習情報の提供(「生涯学習メニュー版」発行など)
- 人権教育の推進

② **公民館管理運営事業** **継続** 【予算額 41,245千円】

- 3公民館共同事業の実施  
ふるさと講座等の開催、公民館報の発行
- 各公民館の管理運営  
公民館運営審議会の開催  
学級・講座の企画運営による学習活動  
分館の活動促進(分館長・主事会の開催)



平和講座

③ **ふるさとの丘管理運営事業** **継続** 【予算額 9,886千円】

- 指定管理による維持管理  
竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

④ **十二天の森整備運営事業** **継続** 【予算額 1,163千円】

- 生涯学習の場、保育園・幼稚園の自然体験の場として活用する  
整備活用検討委員会の開催  
活用イベント等の開催  
遊歩道、支障木等の整備  
ボランティア団体と連携した活動



自然観察会

⑤ **市民農園整備運営事業** **継続** 【予算額 114千円】

- 市民農園の貸出  
市民農園 北割23区画、南割16区画、計39区画の貸出し

**2 文化財の保存と活用**R6.2  
社会教育課**めざす姿**

変わらないものの価値を後世に引き継ぐため、貴重な文化財の調査研究が進められ、有効利用しながら保全に努めている。

	推移(R5は見込み)						目標
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R8
文化財の指定件数	48件	48件	48件	49件	50件	50件	50件

**6年度の  
ポイント**

- ① 郷土館展示品のリニューアル
- ② 文化財の有効活用を図る

**① 竹村家管理運営事業** **継続** 【予算額 2,230千円】

指定管理による維持管理

**② 文化財保存事業** **継続** 【予算額 5,302千円】

新たな文化財の指定

- ・文化財審議会の開催

指定文化財の保存管理

- ・市所有文化財の保存管理（旧木下家住宅、民俗資料館、赤須城跡、芭蕉の松 等）
- ・ハッチョウトンボ生息地環境整備
- ・文化財保存管理等のための人材（学芸員）配置
- ・小鍛冶古墳支障木伐採

名勝光前寺庭園整備活用事業

- ・名勝光前寺庭園整備活用委員会の開催
- ・凄いぞ名勝光前寺講座

**③ 埋蔵文化財発掘事業** **継続** 【予算額 145千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

- ・埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施するその後、事業主より調査費を補填させる
- ・埋蔵文化財包蔵地にかかる保存・保護活動



**3 文化芸術活動の推進**R6.2  
社会教育課

**めざす姿** 多くの市民が多様な文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移 (R5の利用者数は見込み)							目標
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	-	2.97p	-	2.99p	-	3.00p	-	3.27p
文化センター利用者数	143千人	134千人	69千人	27千人	48千人	50千人	120千人	170千人

**6年度のポイント** ① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。  
② 文化施設の整備を進めます。

**① 総合文化センター等の運営****継続・新規** 【予算額 256,851千円】

## ●文化センター管理運営事業 (227,296千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
- ・市民に芸術鑑賞を提供する自主事業の開催
- ・伝統芸術文化の継承と保存、文化団体・鑑賞団体の育成と支援
- ・駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助

## ●文化センター改修事業 (563,229千円)

- ・改修基本計画に基づいた屋根・外壁工事の工事
- ・改修基本計画に基づいた空調設備工事の実施設計

## ●図書館管理運営事業 (17,932千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、図書館運営を実施
- ・図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図ることで、子育て応援にも繋げる。
- ・子ども読書活動推進計画によるブックスタート、セカンドブックに加え、小学校1年生対象のサードブックの配布を継続します。
- ・絵本巡回事業の実施、おはなし会及びお楽しみ会等各種催し物の開催
- ・協働電子図書館事業への参画

## ●博物館管理運営事業 (2,825千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、博物館運営を実施
- ・第23回「駒展」及び第9回ジュニア駒展の開催
- ・各種企画展示の開催
- ・資料の収集整理
- ・県宝小町谷家古文書調査研究

## ●天竜かっぱ広場管理運営事業 (2,536千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、天竜かっぱ広場運営を実施
- ・ふれあい講座、ミニほっと講座等の開催
- ・館収蔵資料・作品による企画展示や特別展の開催
- ・竜東地域活性化への協力
- ・開館30周年記念事業実施

**② 文化芸術振興事業****継続** 【予算額 7,381千円】

## ●エル・システム事業(音楽を通じて生きる力を育む事業)

- ・市内小学生を対象に、エル・システムのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催
- ・市内小学校で弦楽器、和楽器の「鑑賞教室」の実施

## ●駒ヶ根子ども音楽祭の開催

- ・子どもたちの文化芸術団体の発表の場として開催する。

## ●文化芸術振興

- ・文化芸術推進委員会開催

<b>4 市民スポーツの推進</b>	R6.2 社会教育課
--------------------	---------------

<b>めざす姿</b>	ニュースポーツ、アスリートスポーツ問わず、すべての市民が求めるニーズに合わせ、それぞれの世代で楽しくスポーツに親しんでいる。
-------------	--

※H24, R4はスポーツ推進計画策定年度 ※H29は第1次計画の中間年度	推 移							目 標	
	H24	H29	R1	R2	R3	R4	R5	R8	R9
スポーツ少年団の小学生の加入割合	23.4%	22.2%	26.2%	26.0%	26.5%	25.0%	32.8%	30.0%	30.0%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合	32.0%	31.0%	-	-	-	30.7%	-	65.0%	65.0%

<b>6年度のポイント</b>	① 生涯スポーツ活動の推進と、環境整備を進めます。 ② スポーツを通じて地域コミュニティの形成を目指します。 ③ 国民スポーツ大会に向け、施設整備や競技者増加に向けた取組みを進めます。
-----------------	--

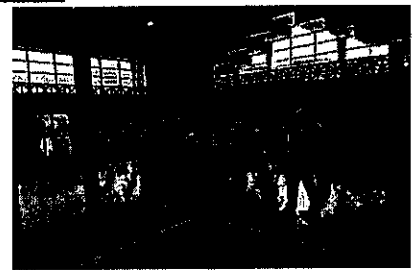
- ① 第11回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催**
- 大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「応援」や「おもてなし」でランナーの皆さんを、お迎えする大会を目指します。
  - 「走る人」「応援する人」「スタッフ等支える人」が皆で「楽しむ」大会を目指します。

**継続** 【予算額 9,132千円】



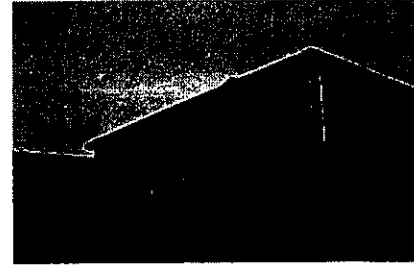
- ② かけっこ教室**
- スポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を創出します。
  - 子どもを通じて、子育て世代への運動機会のきっかけづくりを目指します。

**継続** 【予算額 784千円】



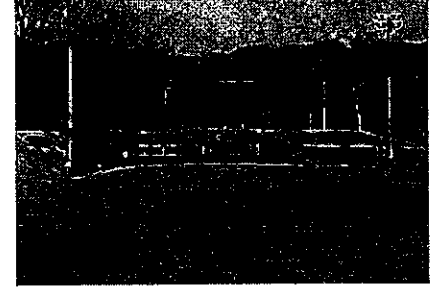
- ③ 体育施設整備運営事業**
- 個別施設計画を踏まえ、計画的な更新、改修、整備を図ります。
    - ・ 社会体育館床面等改修工事
    - ・ 農村交流広場\*ラケット\*LED化等改修設計
  - 指定管理による体育施設の維持管理を行い、施設・設備・器具など利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めます。

**継続・新規** 【予算額 146,548千円】



- ④ 国民スポーツ大会施設整備・競技者普及事業**
- 第82回国民スポーツ大会に向け、計画的に施設整備を行います。
    - ・ ホッケー場実施設計
  - ホッケー競技者の増加に向けた普及・育成事業を積極的に行います。
    - ・ 日本ホッケー協会アンバサダーによるホッケー教室
    - ・ 全日本選手権ホッケー大会観戦

**新規** 【予算額 19,948千円】



令和5年度 一般会計補正予算(第12号)の概要

【一般会計補正予算(第12号)予算規模】 286,658千円 ( 16,752,844千円 ⇒ 17,039,502千円 )

令和5年度 一般会計補正予算(第12号)

【歳出】

(単位:千円)

No.	課名	区分	内容	補正額			
6	子ども	国補正	<b>小学校建設事業</b> <span style="float:right">【繰越明許】</span> 国の令和5年度第1次補正予算に関連する予算を計上します。 <b>【概要】</b> 赤穂東小、中沢小のトイレ洋式化、東伊那小体育館の屋根改修を行います。 (単位:千円)	補正額	30,000		
			特定財源	国支出金	9,257		
				市債	20,700		
				一般財源	43		
			学校施設環境改善交付金 (補助率1/3) 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債				
			事業名・内容	事業費	財源		
					国支出金	市債	一般財源
			設計監理費	2,500	91	2,400	9
			赤穂東小・中沢小トイレ	20,000	6,666	13,300	34
			東伊那小体育館屋根	7,500	2,500	5,000	0
合計	30,000	9,257	20,700	43			
※参考:R6予算のうち補正前倒し分30,000千円							
				歳出補正総額	30,000		
				特定財源	29,957		
				一般財源	43		

【歳入】

(単位 千円)

款	内容				補正額計
	歳入項目	(補正前)	(補正後)	補正額	
国庫支出金	学校施設環境改善交付金	0	9,257	9,257	9,257
市債	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	0	75,400	75,400	75,400
				歳入補正総額	84,657
				特定財源	84,657
				一般財源	0

## 公民館長の任命について

社会教育法第28条及び駒ヶ根市公民館条例（昭和54年条例第24号）第3条の規定により、下記の者を各公民館長に任命する。

令和6年2月29日

## 記

## 1 氏名等

公民館	氏名	生年月日	年齢	住所
赤穂	小松 民敏	■■■■■■■■■■	■■■	■■■■■■■■■■
中沢	久保田之義	■■■■■■■■■■	■■■	■■■■■■■■■■
東伊那	春日由紀夫	■■■■■■■■■■	■■■	■■■■■■■■■■

2 任命年月日 令和6年4月1日

3 任期 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

## R6-2 定例教育委員会報告

## 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	実行番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認	
後援	5-157	おやこ サッカー教室	ジョイフルサッカークラブ	令和6年2月20日(火)	農業者トレーニングセンター	承認	
後援	5-158	FRESCOBALL ALPS 2月体験会	FRESCOBALL ALPS	令和6年2月25日(日)	駒ヶ根家族旅行村	承認	新規
後援	5-159	第99回 伊那美術展	伊那美術協会	令和6年6月9日(日)	長野県伊那文化会館 美術展示ホール	承認	
後援	5-160	2024年TOSS春の教師力UPフェス 長野県伊那地区	TOSS春の教師力UPフェス 長野県伊那地区実行委員会	令和6年3月26日(火)	伊那市生涯学習センターいなっせ	承認	
後援	5-161	令和5年度 倫理経営講演会	長野県伊南倫理法人会	令和6年4月24日(水)	駒ヶ根市 アイパル3階	承認	
後援	5-162	Spring School	南箕輪村地域おこし協力隊	令和6年3月16日(土)	田畑公民館・北殿公民館	承認	
後援	5-163	公民スポーツ大会競技人口拡大プロジェクト ホッケー体験会	飯島町総合型スポーツクラブ	令和6年3月16日(土)	ふるさとの丘アルプスドーム	承認	新規
後援	5-164	信州民謡民舞の祭典	長野県民謡協会	令和6年3月24日(日)	赤穂公民館	承認	
後援	5-165	令和6年度伊南子ども劇場鑑賞例会(全7回)	伊南子ども劇場	令和6年4月20日～	伊南市町村内	承認	
後援	5-166	令和6年度伊南子ども劇場低学年おやこキャンプ	伊南子ども劇場	令和6年7月6日(土)	駒ヶ根キャンプセンター	承認	
後援	5-167	令和6年度伊南子ども劇場高学年キャンプ	伊南子ども劇場	令和6年8月3日(土)	阿南町二瀬キャンプ場	承認	
後援	5-168	令和6年度伊南子ども劇場あそびじゅく	伊南子ども劇場	令和6年5～11月まで月1回	東伊那の山林	承認	
後援	5-169	令和6年度伊南子ども劇場まちをあそぶ! 忍者修行	伊南子ども劇場	令和6年10月6日(日)	アルパ 駒ヶ根市商店街	承認	新規
後援	5-170	令和6年度伊南子ども劇場未就園児サークル「ぼけっとクラブ」	伊南子ども劇場	R6年5月～R7年3月までの月1回	ふれあいセンターほか	承認	
後援	5-171	BRUSH A LIVE 2024	ダンス・スクール BRUSH UP	令和6年4月13日(土)	駒ヶ根市文化会館大ホール	承認	
後援	5-172	第27回駒ヶ根市空手道選手権大会	空手スポーツ少年団	令和6年3月31日(日)	武道館	承認	
後援	5-173	長野県高野連上伊那地区加盟校上伊那大会	長野県高野連上伊那	令和6年10月12日(土)	アルプス球場	承認	新規
後援	5-174	華道 如月会 第64回いけばな展	如月会	令和6年4月13日(土)	アルパ	承認	
後援	5-175	信越連盟 春季大会	駒ヶ根リトルシニア	令和6年4月27日(土)	駒ヶ根アルプス球場	承認	
後援	5-176	2024春の第36回山岸めぐみ門下生スプリングピアノコンサート	山岸めぐみ(ピアノ教室)	令和6年4月29日(月)	駒ヶ根市文化会館大ホール	承認	
共催	5-177	ハッチョウトンボの観察会	ハッチョウトンボを育む会	令和6年6月29日(土)	駒ヶ根市南割公園	承認	
共催	5-178	ハッチョウトンボ棲息地整備作業	ハッチョウトンボを育む会	令和6年4月27日(土)	駒ヶ根市南割公園	承認	
共催	5-179	ハッチョウトンボ棲息地整備作業	ハッチョウトンボを育む会	令和6年10月26日(土)	駒ヶ根市南割公園	承認	

共催 3件  
後援 20件  
協賛 0件  
23件

承認 23件  
不承認 0件  
協議中 0件  
23件



令和6年度 教育委員会定例会・臨時会の開催日程について(訂正)

令和6年度の教育委員会定例会及び臨時会の開催日程について、以下の日程で計画したいのでご予定をお願いします。なお、今後他の行事との兼ね合いで日程、会場等が変更となります。(これは確定ではありません)

開催月	定例会	曜日	会 場	臨時会	曜日	会 場
4月	30日	火	保健センター 2階 大会議室			
5月	28日	火	保健センター 2階 大会議室			
6月	25日	火	南庁舎 2階 大会議室			
7月	30日	火	南庁舎 2階 大会議室			
8月	27日	火	南庁舎 2階 大会議室			
9月	24日	火	保健センター 2階 大会議室			
10月	29日	火	保健センター 2階 大会議室	1日	火	南庁舎 2階 大会議室
11月	26日	火	南庁舎 2階 大会議室			
12月	24日	火	保健センター 2階 大会議室			
1月	28日	火	保健センター 2階 大会議室			
2月	28日	金	保健センター 2階 大会議室	28日	金	保健センター 2階 大会議室
3月	25日	火	保健センター 2階 大会議室			

※ その他の行事等との調整により日程及び会場を変更します。

※ これまでの例に倣い月末の火曜日を基本にしています。